

CS通信

訓子府町 CS・学校運営協議会

地域みんなで学校応援団
これまでのCS通信や学校運営協議会に
関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》→



CS(コミュニティ・スクール) 第3回学校運営協議会の開催

今年度3回目の学校運営協議会を2月21日(水)に公民館多目的ホールで開催しました。今年度の活動の経過報告とこども園・小中学校・訓子府高校より、今年度後期の学校評価結果とそれを受けての改善点や次年度の方向性について報告がありました。その後、各委員より今年度の学校運営協議会やこども園や各学校へのご意見やご感想をいただき、閉会となりました。委員の皆さん、1年間のご支援・ご協力、本当にありがとうございました。



各校の後期学校評価結果と次年度の方向性等

〈こども園〉インフルエンザが流行し、休園措置があった。評価で低い項目については職員間で対策を話し合った。6年度当初の園児数は107名の予定で、大きく減少する。0~2歳児の就園率は上がっているが、出生数が減少しているためこの傾向が続く。対応を考えていく必要がある。津野町との交流で本園の職員が津野町へ、津野町の職員が本園へ来ることが決定した。

〈訓子府小学校〉今年度、「温かな人間関係」と「わかる・できる・楽しい授業」をテーマに取り組んだ。「授業は楽しい」「学校に楽しく通っている」「地域に根付いた学習」の3点を最重要項目とした。コロナ禍が明け、様々な活動を再開し、ふるさと教育の充実ができた。課題は、「家庭学習の習慣」で、前期は端末の持ち帰りを行い評価は上がったが、後期は下がった。タブレットを利用した学習内容が保護者に伝わっていない部分がある。今年度最後まで取組を進めていく。

〈居武士小学校〉コロナ明けの1年として、繋がれなかった人と繋がりたい、地域や各学校と繋がることを大切にしたい。連携を重視した取組は評価された。来年も大切にしていきたい。訓小との連携を軌道に乗せることができた。小規模校少人数をメリットとして、きめ細かい学習、自主的に学ぶ習慣作りを大事にしてきた。保護者からの評価も高い。来年度はさらに伸ばしていきたい部分がたくさんある。取組を進めていきたい。

〈訓子府中学校〉重点目標「的確に判断して行動できる生徒の育成」を目指した。全ての教育活動がこの重点目標につながるものと考えている。子供たちが学び合う、わかる授業になるよう端末を効果的に使いながら授業を進めている。特別支援教育では、個々の特性に応じた指導を丁寧に進めている。端末を通して先生を指定して相談ができるシステムを作った。働き方改革では土日の部活動に課題がある。生徒の自己評価では、家庭学習に課題が多い。いじめに関しては許されないことであることが定着している。自由記述で、生徒からはトイレ・スクールバスについて、保護者からはクロームブックの使い方についての意見があった。

〈訓子府高校〉今年度64名でスタートしたが、現在60名の在籍となった。保護者の学校評価は、高校が見えないためか無難な数字となっている。生徒の評価では学習面や教育相談に関して低評価だが、教育相談体制はしっかりと作られている。進路指導については高い評価である。様々なイベントを増やし、生徒に

進路を考えさせている。卒業生全員が11月時点で進路を決定できた。職員評価では、新しい学習指導要領が来年度で完全実施となるが、その部分が課題となっている。いじめに関しての評価が低い、自分勝手に思いやりかけた生徒の行動が見られたため、指導をしている。訓高生とこども園小中学校との交流を増やすだけでなく、町の行事等にも積極的に参加した。生徒自身も積極的に活動に取り組んでいる。次年度の入学希望が39名となり、例年よりもかなり増加している。

◎各委員から：全委員からご意見・ご感想を発表していただきました。いくつかを紹介します。

- ・「地域」という言葉が何度も出た。地域とのつながりを大切にしていると感じた。夢を考える授業があったが、子供たちはどんな仕事があるかなどを知らない。ICT等を活用して、興味を広げてほしい。
- ・先生たちと接する機会が少ないが、この会議で先生たちのご苦労が良く分かった。部活を頑張ってくださいに大変感謝している。
- ・訓高のいじめの問題をお聞きしたが、学校の教育の中で人を大切にする心を植え付けてほしいと考える。この会議に参加して大変勉強になった。
- ・中学校の資料を見て、便利なツール（タブレット）がでると様々な問題が出てくる。それ以外にも、部活の問題では、指導者不足や先生たちの労働時間の問題などを考えていかなければならないと感じた。

◇姉妹町津野町の葉山小学校と訓小がmeet交流◇



訓子府小学校 5 年生は、新しい「くねっぶ学」をスタートしました。訓子府町と姉妹町である高知県津野町の葉山小学校と meet というアプリでつながりました。この日のために、「訓子府の魅力大調査」と題して、訓子府町の良い所を調べてタブレットを使いまとめています。グループごとに、タブレットの前に立ち、訓子府町の良さを発表しました。葉山小学校 5 年生からも津野町の良い所を紹介してもらいました。訓子府町・津野町の良い所を知った 5 年生、6 年生では何名かが交換留学で津野町を訪問する機会があります。交換留学生の募集では、たくさんの応募がありすぎて困ってしまうかもしれません。

◇スクールサポーター・学校応援団「雪像づくり・サンタさん・お寺や野菜倶楽部との交流」◇



後期も多くのスクールサポーターや学校応援団のご協力による活動が行われました。

写真左上は「子どもと雪像を作る会」の方と訓小・居小 4 年生と一緒に雪像を作っているところです。さむさむ祭りで 4 基の雪像をお披露目できました。右上は、サポーターの菊池さんがこども園でサンタさんになってプレゼントを渡す様子です。子供たちは大喜びでした。右下は、お寺で住職さんから鬼について教わっているところです。左下は、「野菜倶楽部」とこども園との交流です。野菜の紙芝居や野菜クイズを楽しんで、給食を一緒に食

べました。写真はありませんが、訓中 1 年生では横手さんを講師に手話講座を実施しました。

今年度もスクールサポーター・学校応援団の皆様が大変お世話になりました。次年度も変わらぬご支援・ご協力をお願い致します。「こんなお手伝いが出来るよ。」といったサポーターを大募集しています。ご協力いただける方は、下記までご連絡をお願いします。